



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社
コード番号 6973 URL <https://www.kyoei.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 村本 篤 TEL 03-3481-2111
四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,655	△3.0	△142	—	△135	—	△162	—
2019年3月期第1四半期	14,076	12.8	△177	—	△130	—	△160	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △203百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △297百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△53.31	—
2019年3月期第1四半期	△52.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,148	13,283	36.7
2019年3月期	36,428	13,548	37.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,283百万円 2019年3月期 13,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	29,000	0.5	125	△6.4	105	△24.5	45	—	14.76
通期	60,000	4.3	400	38.5	350	40.0	200	—	65.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	3,193,545株	2019年3月期	3,193,545株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	145,825株	2019年3月期	145,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	3,047,720株	2019年3月期1Q	3,048,003株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続きましたが、米中貿易摩擦の影響拡大に伴い、中国経済の減速傾向が強まったことにより輸出や設備投資が伸び悩み、力強さに欠ける緩やかな景気回復が続きました。

また、海外においては、米国経済は、堅調を維持いたしましたが、米中貿易摩擦の激化・中国経済の減速・英国のEU離脱問題等が、世界経済へ悪影響を及ぼす懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような情勢の下で、当社グループが持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るなど、収益向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は136億5千5百万円、前年同期に比べて3.0%の減収、営業損失は1億4千2百万円（前年同期営業損失1億7千7百万円）、経常損失は1億3千5百万円（前年同期経常損失1億3千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億6千2百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億6千万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 107億9千3百万円（前年同期比4.5%減）
- ・営業利益 1億2千1百万円（前年同期比10.1%増）

商事部門においては、売上高は、やや伸び悩みましたが、利益面は、利益率の改善もあり順調に推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

<半導体デバイス事業>

半導体分野では、自動車関連は、国内向けは弱含みましたが、中国、北米向けが伸長し、順調に推移いたしました。また、車載機器装置向けは、運転支援機能搭載など高機能化により市場規模が拡大し、堅調に推移いたしました。

白物家電関連では、空調機は、中国向けが伸び悩みましたが、国内向けが好調に推移し、全体としては順調に推移いたしました。

産業機関連では、半導体製造装置向けは、中国での設備投資に対する慎重姿勢を受け、市場の成長が鈍化したため、やや堅調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連向けが、低調に推移いたしました。

<FA・環境システム事業>

産業メカトロニクス分野では、主要な市場である中国経済が減速傾向で、同国内での設備投資に対する慎重姿勢を受け、中国向け製造装置の輸出が減少したため、電子部品向け部材用加工機関連等は、低調に推移いたしました。

FA機器分野では、半導体製造装置メーカーに対する積極的な受注活動及び主要仕入先との連携による拡販活動により、順調に推移いたしました。

3Dプリンタービジネス分野では、二次店連携による保守・消耗品ビジネスの増加により好調に推移いたしました。

環境ビジネス分野は、太陽光発電等の省エネ関連は低調に推移いたしましたが、空調・冷熱機器関連は堅調に推移いたしました。

(ICT部門)

- ・売上高 9億9千5百万円（前年同期比7.0%減）
- ・営業利益 2百万円（前年同期比94.8%減）

ICT部門においては、前年と比較すると、やや低調に推移いたしました。

なお、ICT部門では、9月及び3月に売上高及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

<ビジネスソリューション事業>

ビジネスソリューション事業は、総じて堅調に推移いたしました。

エンドユーザー向け提案型システム開発は、大型リプレース案件があり、順調に推移いたしました。
サービス提供型ビジネスは、FACE (FAX送受信の代行サービス) のユーザーの利用拡大等により順調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、好調であった昨年と比較すると、電力関連向けが、やや低調に推移いたしました。

<エンベデッドシステム事業>

エンベデッドシステム事業は、総じて堅調に推移いたしました。

特定用途向け専用装置販売は、通信制御装置及び搬送ロボット案件の受注により、順調に推移いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は、受注に苦戦し、低調に推移いたしました。

受託開発は、運輸交通関連等のシステム開発が、順調に推移いたしました。

<IC設計事業>

IC設計事業は、主要顧客からの受注が一部弱含みましたが、新規受注活動により、総じて堅調に推移いたしました。

(製造部門)

- ・売上高 18億7千4百万円 (前年同期比9.8%増)
- ・営業利益 2千9百万円 (前年同期営業損失3千5百万円)

製造部門においては、車載向け特殊基板の受注が伸長するとともに、海外で中国基板メーカーと連携して行っている基板ビジネスが拡大し、総じて順調に推移いたしました。

事業の詳細は以下のとおりです。

<プリント配線板事業>

相模原工場並びに福島協栄株式会社で生産する車載向け基板は、メタルコア基板、厚銅箔基板、特殊技術を活用したLED応用製品向けモジュール基板の受注は伸長し、順調に推移いたしました。産業機関連の受注は低調に推移いたしました。

海外で中国基板メーカーと連携して行っている基板ビジネスは、デジタルカメラ関連は、市場縮小により低調に推移いたしました。車載向けの新規製品が立ち上がり、受注が伸長したことにより、全体としては、好調に推移いたしました。

なお、2019年7月1日付で、当社のプリント配線板製造事業を、連結子会社である福島協栄株式会社に承継させる会社分割を行うとともに、同日付で福島協栄株式会社の商号を協栄サーキットテクノロジー株式会社に変更いたしました。詳細は、2019年4月25日に開示しております「連結子会社との会社分割(簡易吸収分割)及び子会社の商号変更に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億7千9百万円減少し、361億4千8百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金4億2千2百万円の減少、受取手形及び売掛金3億5千6百万円の減少、仕掛品3億1千8百万円の増加、電子記録債権2億3千2百万円の増加等により、2億5千3百万円減少し、293億5千6百万円となりました。
- ・固定資産は、無形固定資産2千3百万円の減少等により、2千6百万円減少し、67億9千1百万円となりました。
- ・流動負債は、短期借入金6億5千7百万円の増加、支払手形及び買掛金3億1千万円の増加、賞与引当金3億2千6百万円の減少、再整備費用引当金2億3千万円の減少等により、4億1百万円増加し、174億5千万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金4億4千6百万円の減少等により、4億1千6百万円減少し、54億1千4百万円となりました。

この結果、純資産は、2億6千4百万円減少し、132億8千3百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の37.2%から0.5ポイント減少し、36.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,155,483	3,732,507
受取手形及び売掛金	14,244,162	13,887,784
電子記録債権	2,952,091	3,184,789
商品及び製品	7,232,141	7,256,948
仕掛品	410,537	729,198
原材料及び貯蔵品	241,621	254,980
その他	390,827	331,354
貸倒引当金	△16,943	△20,709
流動資産合計	29,609,922	29,356,854
固定資産		
有形固定資産	2,202,741	2,204,886
無形固定資産	489,336	465,545
投資その他の資産		
投資有価証券	2,766,657	2,760,587
退職給付に係る資産	592,241	602,582
繰延税金資産	2,123	2,089
その他	879,543	875,604
貸倒引当金	△114,351	△119,765
投資その他の資産合計	4,126,215	4,121,098
固定資産合計	6,818,293	6,791,530
資産合計	36,428,216	36,148,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,348,671	8,659,154
電子記録債務	1,789,435	1,678,753
短期借入金	2,855,552	3,512,999
1年内返済予定の長期借入金	1,787,000	1,787,000
未払法人税等	172,558	16,270
賞与引当金	457,819	131,556
再整備費用引当金	365,538	135,161
その他	1,272,616	1,529,535
流動負債合計	17,049,191	17,450,432
固定負債		
長期借入金	4,917,500	4,470,750
繰延税金負債	542,918	545,489
その他	370,402	398,252
固定負債合計	5,830,820	5,414,491
負債合計	22,880,011	22,864,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,386,536	6,163,096
自己株式	△423,159	△423,266
株主資本合計	12,245,432	12,021,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011,156	1,005,970
為替換算調整勘定	115,171	90,836
退職給付に係る調整累計額	176,444	164,769
その他の包括利益累計額合計	1,302,772	1,261,576
純資産合計	13,548,204	13,283,461
負債純資産合計	36,428,216	36,148,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,076,618	13,655,437
売上原価	12,581,999	12,077,427
売上総利益	1,494,618	1,578,010
販売費及び一般管理費	1,672,146	1,720,508
営業損失(△)	△177,527	△142,497
営業外収益		
受取利息	119	129
受取配当金	47,469	42,165
為替差益	27,804	—
その他	13,943	19,666
営業外収益合計	89,336	61,961
営業外費用		
支払利息	27,096	29,757
為替差損	—	9,279
債権売却損	1,846	876
その他	13,644	14,567
営業外費用合計	42,587	54,481
経常損失(△)	△130,778	△135,018
特別利益		
投資有価証券売却益	—	169
子会社清算益	475	—
特別利益合計	475	169
特別損失		
固定資産除却損	1,052	556
再整備費用	—	6,251
特別損失合計	1,052	6,808
税金等調整前四半期純損失(△)	△131,356	△141,656
法人税、住民税及び事業税	17,233	10,734
法人税等調整額	12,184	10,094
法人税等合計	29,417	20,828
四半期純損失(△)	△160,774	△162,484
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,774	△162,484

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△160,774	△162,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178,171	△5,186
為替換算調整勘定	45,672	△24,334
退職給付に係る調整額	△3,888	△11,675
その他の包括利益合計	△136,387	△41,195
四半期包括利益	△297,161	△203,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△297,161	△203,680

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I C T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	11,303,647	1,065,138	1,707,833	14,076,618
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,673	5,518	—	7,192
計	11,305,320	1,070,657	1,707,833	14,083,810
セグメント利益又は損失(△)	110,684	47,018	△35,583	122,118

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,118
全社費用(注)	△299,646
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△177,527

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I C T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	10,791,671	989,354	1,874,411	13,655,437
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,555	6,412	—	7,968
計	10,793,227	995,767	1,874,411	13,663,405
セグメント利益	121,892	2,436	29,829	154,158

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	154,158
全社費用(注)	△296,656
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△142,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。